

日本熱帯農業学会平成 31 年度総会並びに第 125 回講演会

期 日 2019 年 3 月 16 日 (土)・17 日 (日)

場 所 千葉大学環境健康フィールド科学センター 〒277-0882 柏市柏の葉 6-2-1

事務局 〒271-8510 松戸市松戸 648 千葉大学園芸学部内 JSTA125 事務局

メールアドレス : mtgaki@faculty.chiba-u.jp

講演会運営委員長 千葉大学園芸学研究科 犬伏和之

参加費 一般 : 5000 円、学生 : 3000 円 (要旨集代含む)

懇親会費 一般 : 5000 円、学生 : 3000 円

第一会場 : シーズホール、第二会場 : 管理棟講義室

講演会 研究発表 (発表 12 分、質問 3 分)

3 月 16 日 (土)

時間	第一会場 シーズホール			第二会場 管理棟講義室		
			講演題名			講演題名
9:00	犬伏和之氏・千葉大	1	南インドの畑作地におけるバイオ炭の施用が土壌炭素動態および作物生育へ与える影響の解明 関 真由子 氏 東京農工大学 他	パチヤキルバビル氏・東農大	10	Comparative Analysis of Land Use/ Land Cover Changes in Three Areas in Myanmar Using Satellite Images Kay Khaing Oo1 et al. Kyoto Univ.
9:15		2	Biological Nitrogen Fixation in Water Yam ( <i>Dioscorea alata</i> L.) and Lesser Yam ( <i>Dioscorea esculenta</i> L.) Associated with Endophytic Diazotrophic Bacteria M. OUYABE et al. Tokyo University of Agriculture		11	Collaborative Exploration of Plant Genetic Resources in Northern Cambodia Tokuda, M. et.al. Shinshu Univ.
9:30		3	沖縄県のサトウキビ畑土において土壌型が蓄積するリンの量および形態に与える量および形態に与える影響の解明 野々村詠人 氏 東京農工大学他		12	ミャンマー連邦共和国におけるアブラナ科野菜” Mohn Nyin” の探索収集とその実態 吉田沙樹 氏 東京農業大学 他
9:45		4	Formation Processes and Properties of Soils in Central and Northern Malawi C. Chisambi, H. Shinjo Kyoto University		13	カラシナ( <i>Brassica juncea</i> ) 遺伝資源の花成形成の変異に関する研究 谷ちぐさ 氏 東京農業大学 他
10:00	坂上潤一氏・鹿大	5	パーマカルチャー農法が栽培環境および作物と雑草の生育に及ぼす影響 ブトロ ラディティヨ ハルヨ 氏 東京農業大学	上吉原裕亮氏・日大	14	カンボジアにおける野菜生産の実態と生産拡大に向けた課題 吉田達矢 氏 名古屋大学 他
10:15		6	ネパール山間における農業・生活に関する在地の知識および技術— ムスタン郡コバン地区を事例として— 倉田祐輔 氏 信州大学		15	Effect of 1-MCP microbubbles treatment on delay of postharvest ripening in ‘Khai (Sucrier)’ banana fruit INOUE T. et.al. Univ. of Tsukuba
10:30	竹田晋也氏	7	Terracotta depicting “drawing a plough” from Ranir Banglo, Moinamoti, Bangladesh and Ananda Temple, Bagan, Myanmar K. Ando, et.al. Kyoto Univ.	東農大	16	イネの天水直播栽培におけるプライミング種子利用リスクの検討 中尾祥宏 氏 鹿児島大学

10:45	竹田晋也氏・京大	8	Socio-economic characteristics and migration patterns of a village in Ayeyarwady Delta: A case study of Ywathitsu Village, Maubin Township, Myanmar M. Paing et.al., Maubin University	篠原卓氏・東農大	17	Analysis of rice yield variation among paddy fields along 2 estuaries of Red River, Vietnam Phan Luyen, Kamoshita Akihiko University of Tokyo
11:00		9	A micro-level analysis of rural-urban migration in Bhutan Tashi Chopel, Tashi Jamtsho Royal University of Bhutan		18	湛水条件下におけるサトウキビの根の形態的变化 坂上潤一ら 鹿児島大学
11:15 ~ 12:00	<p>ポスターセッション（セミナー室）（1~11、学生優秀発表賞対象ポスター）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Effect of rice straw, biochar and nitrogen on greenhouse gases production in paddy oils in south India K. Inubushi et.al., Chiba University</li> <li>複数の植物成長調節剤が収穫後のライム‘Paan’の果皮色に及ぼす影響 富山 博之ら、千葉大学他</li> <li>Table Grape Production in Afghanistan and Attempt to Prevent Berry Shattering as a Serious Postharvest Problem Masomi Abdull Wahid, Hiroshi Gemma, Tokyo University of Agriculture</li> <li>Practical Solutions to Maintain Shelf Life of Apple Using Intermediate Temperature Incorporated with Modified Atmosphere Packages, Edible Coatings and 1-MCP in Afghanistan Niamatullah Dawlatzai, Hiroshi Gemma, Tokyo University of Agriculture</li> <li>完全冠水下におけるイネの根の通気組織及び酸素漏出バリアの形成 岩田晋子ら、鹿児島大学他</li> <li>ウガンダ国セレレ県における在来農法と JICA 推奨農法の比較からみた陸稲普及の課題点 斉藤雄介ら、日本大学他</li> <li>Influence of different fertilizers and water management on CH<sub>4</sub> emission in IR50 rice Kyu Kyu Hmwe et.al., Chiba University</li> <li>サゴヤン実生の対肥料反応性に関する研究 浅野航輝ら、名古屋大学</li> <li>ひこばえを利用した高収量稲作栽培体系の評価 岩永響希ら、鹿児島大学</li> <li>Effects of conservation agriculture on some biological and chemical properties of soil in rain-fed upland ecosystem of Cambodia S. SIENG et.al., Tokyo University of Agriculture and Technology</li> <li>タイにおける高齢果樹農家の現状と展望 -サムットサーコーン県, ノンタブリ県, ラチャブリー県, チャンタブリ県の事例を中心に- 大塚 俊ら、千葉大学他</li> <li>Effects of Logging and Forest Fires on Stand Structure of <i>Acacia catechu</i> Forests in Saw Township, Magway Region, Myanmar W. P. Maung, S. TAKEDA, Kyoto University</li> <li>根色が異なる島ニンジンの根におけるカロテノイド含量, 糖含量, SOD 活性および味覚の系統間差異 砂川春樹ら、琉球大学他</li> <li>温度がムラサキクダモノトケイソウおよびキイロクダモノトケイソウの光合成特性に及ぼす影響 島田温史ら、鹿児島大学</li> <li>カンナ属植物種系統間の生育, 根茎・デンプン収量の評価 宮崎彰 ら、高知大学</li> </ol>					
	昼休み					
1300	総会（講義室）					
1400	<p style="text-align: center;">公開シンポジウム（シーズホール）</p> <p style="text-align: center;">アジアの農村の持続性・・・都市と地方の共存共栄は可能か</p> <p style="text-align: right;">司会 安藤和雄氏（京都大学）</p> <p>アジアの現状 ・タイの高齢化と農村 大泉啓一郎氏（日本総合研究所）</p>					

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の帰農、農村回帰 Changhoo Chun 氏 (韓国・ソウル国立大学)</li> </ul> <p>事例紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブータンの過疎と離農問題—農村の現状と GNH の実践— 赤松芳郎氏 (京都大学)</li> <li>ミャンマーからの国外就労と農山村の持続性 竹田晋也氏 (京都大学)</li> <li>日本とアジアをつなぐ</li> <li>・東マレーシアと東南・東アジア諸国の農村における過疎・高齢化の共通点・差異点 市川昌広氏 (高知大学)</li> </ul>
1800	懇親会・学生優秀発表賞授賞式 (ららぽーと 3F 紅虎餃子房)

3月17日(日)

時間	第一会場		第二会場	
		講演題名		講演題名
9:00	倉内伸幸氏・日大	19 ザンビア共和国の難民等再定住スキームについて 高垣美智子ら 千葉大学	立石亮氏・日大	
9:15		20 ベトナム北西部ソンラ山岳地域のハトムギ (Coix lacryma-jobi L.) 生産と消費の調査 西村美彦 ら 名古屋大学 他		27 サゴ属植物の花器形態の特徴 高木麻衣 ら 名古屋大学 他
9:30		21 インドネシアのタニンバル諸島・アルー諸島・ブル島におけるトウガラシ属植物の利用 山本宗立 ら 鹿児島大学 他		28 パインアップル染色体におけるリボゾーム DNA の蛍光 <i>in situ</i> ハイブリダイゼーション 山本雅史 ら 鹿児島大学 他
9:45		22 ガーナ内陸低湿地における水田水利施設上の被覆植物の現存量 團晴行 ら 国際農業研究センター 他		29 宮古島産マンゴー果実の CA 保蔵について 弦間 洋 ら 東京農業大学 他
10:00	加藤太氏・日大	23 ミャンマー半乾燥地域における天水畑作システムの動態 松田正彦 立命館大学	江原宏氏・名大	30 低温処理の長さが京都府特産甘長トウガラシの着果、果実形状、花粉発芽に及ぼす影響 伊藤俊 ら 京都府農林水産技術センター
10:15		24 Long-term fallow management increased labile organic matter but not stable organic matter in Niger, West Africa S. Sugihara et.al. Tokyo University of Agriculture and Technology		31 カラタチ台タンカン‘垂水1号’における褐色斑点発生葉および落葉と気温との関係 内野浩二 ら 鹿児島県農業開発総合センター 他
10:30		25 ザンビア北西部におけるキャッサバ塊根の収穫方法とその収量比較の試み 原 将也 立正大学		32 生長曲線解析法をもちいたサトウキビ収量予測の可能性 比屋根真一 ら 沖縄県農研センター 他
10:45		26 スーダンサバンナでのソルガム栽培における最適な肥培管理法 伊ヶ崎健大 ら 国際農林水産業研究センター 他		124-25 注 沖縄県のサトウキビ畑における推定蒸発散量と地上部乾物重との関係 比屋根真一 ら 沖縄県農研センター 他

注：124 回大会 2 日目中止に伴い発表できなかった課題です。要旨集には要旨は掲載されていません。